

平成19年度「教員の総合的活動自己評価」に関する報告書

－ 平成16～19年度の推移 －

平成21年3月

国立大学法人高知大学評価本部

評価本部委員名簿

平成 20 年 9 月 1 日

本部長	本家 孝一	(副学長、医療学系医学部門教授)
総務担当委員	大年 邦雄	(自然科学系農学部門教授)
教育担当委員	小島 郷子	(人文社会科学系教育学部門教授)
研究担当委員	市川 善康	(自然科学系理学部門教授)
財務担当委員	八木 年晴	(副学長、自然科学系農学部門教授)
医療担当委員	佐野 栄紀	(医療学系医学部門教授)
地域(社会)連携担当委員	田村 安興	(人文社会科学系人文社会科学部門教授)
学外委員	村木 厚子	(厚生労働省雇用均等・児童家庭局長)
情報リテラシー担当	奥原 義保	(医療学系医学部門教授)

陪席者

寺本 栄二	総務部長
前田 邦章	総務課長
松山 郁	教員支援課長
小松 平八	評価室長
井上 博文	教員支援課課長補佐

事務担当

立花 裕	総務課評価室
------	--------

目次

概要	-----	1
第1章 はじめに	-----	2
第2章 方法	-----	3
第3章 結果	-----	5
3-1節 自己評価報告書、活動状況資料、次年度計画書の提出状況	-----	5
3-2節 活動比率と自己評価点	-----	6
3-2-1項 活動比率の推移	-----	6
3-2-2項 自己評価点の推移	-----	10
3-3節 素点に基づく点数化	-----	11
3-4節 活動分野別活動状況	-----	12
3-4-1項 教育活動	-----	12
3-4-2項 研究活動	-----	17
3-4-3項 社会貢献活動	-----	22
3-4-4項 大学運営活動	-----	26
3-4-5項 診療活動	-----	28
3-5節 「自己評価点」と「素点に基づく点数化」の関係	-----	29
第4章 おわりに	-----	30

概 要

【1. はじめに】 高知大学は、『内部質保証システム』の構築を目的として、平成16年度から「教員の総合的活動自己評価」と「組織評価」を導入した。これらは、各教員あるいは各部局が高知大学というシステムにおける自分の立ち位置と目標・計画を明確にし、それぞれが最大の成果を出せるように自己改革するしくみである。「教員の総合的活動自己評価」は、各教員の個性的な取り組みを自らがレビューする自己評価と、外形的な活動状況調査から成る。前者は、各教員に固有のものであり、他者と比較することは難しく無意味でもある。後者は、相対的な比較が可能であり、マス分析を行うことにより大学全体の活動状況の変遷を追うことも可能である。高知大学では、平成16年度から平成19年度まで、4年間データを蓄積してきた。この4年間の高知大学の活動状況を経年的に分析することを本報告書の主たる目的とする。

【2. 方法】 各教員が自ら入力した活動量に素点を乗じて、素点に基づく点数化を行った。活動項目と素点の設定は、経年的変化をみるため、原則として平成16年度に設定されたものを据え置き、大勢に影響が出ないごく一部の活動項目と素点のみ改訂した。

【3. 結果】 1) 次年度計画の提出率が下がってきている。これは、自己評価の重要性を十分に認識できていない教員がいることを物語っている。改善こそ評価の真の目的であることを再認識していただきたい。2) 高知大学全体の活動量は、平成16年度～18年度に活動量が上昇して来たが、19年度は17年度よりも低下した。平成19年度に低下した活動分野は研究活動である。研究活動では学会活動が低下していた。研究活動の活動比率が、人文学部では教育活動に、医学部では診療活動にシフトしている。3) 「自己評価点」と「素点に基づく点数化」の相関係数は、平成17年度0.194、平成18年度0.194、平成19年度0.266と上昇してきている。このことは、これら異質な二つの指標が互いに干渉し始めた、つまり、少なくとも教員の意識において自己評価の効果が表れ始めていることを意味するのかもしれない。

【4. おわりに】 本学の教員は、法人化後、さまざまな活動分野でプロダクトを増加させようと努力を重ねてきたが、昨今の資源削減の制約下では全ての活動分野で成果を上げることは限界に達しているのではないかと危惧される。限られた資源で『教育研究の質の向上』を目指すには、集約化された教育研究体制の構築が喫緊の課題である。評価には莫大なエネルギーが費やされる。この労力を無駄にしないためにも、高知大学の自己評価システムをさらに良いものへと進化させ、本学を活力と個性に溢れる地域の大学へと発展させていくことが、教員一人ひとりの責務である。

第1章 はじめに

平成16(2004)年4月、国立大学は法人化され、『教育研究の質の向上』を目指して自主・自立の経営をしていくことになった。各国立大学は自ら進むべき方向を定めることが可能となったが、同時に経営した結果の責任を厳しく問われることになった。

国立大学の『教育研究の質の向上』を担保するしくみとして、二つの第三者評価が法的に義務づけられている。各国立大学法人は、7年毎に認証評価を、6年毎に国立大学法人評価を受けなければならない。認証評価は、絶対評価で、最低水準の保証である。国立大学法人評価は、相対的水準評価が行われる。

国立大学法人高知大学は、平成19(2007)年度に1回目の認証評価を受け、平成20(2008)年度に第一期中期目標期間の国立大学法人評価を受けた。本報告書作成時には、国立大学法人評価の結果は出ていないが、認証評価では「大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」と判定された。

大学の質の保証は、上記の第三者評価に託されがちであるが、法人化本来の自主・自立を実現するには、自らの責任で大学の諸活動についての点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努める体制を整備する必要がある。平成20(2008)年10月に中央教育審議会が出した答申「学士課程の構築に向けて」においても、「有効な自己点検・評価は第三者評価制度が有効に機能する前提条件であり、恒常的な質保証にとって欠かせない」と強調されているように、大学における自己評価を『内部質保証システム』にまで高めることができるかが課題である。

高知大学は、『内部質保証システム』の構築を目的として、平成16(2004)年度から「教員の総合的活動自己評価」と「組織評価」を導入した。これは、各教員あるいは各部局が、高知大学というシステムにおける自分の立ち位置と目標・計画を明確にし、それぞれが最大の成果を出せるように自己改革するしくみである。毎年度年初に、各教員と各部局は計画(Plan)を立て、一年間をかけ実行(Do)し、年度末に自己評価(Check)を行い、その成果に応じて次年度に改善策(Act)を講じる。理想的には、Actを次年度のPlanに繋げると、螺旋を描くように一年ごとにPDCAサイクルが向上していき継続的にスパイラルアップし、おのずから活力と個性に溢れる高知大学が実現され発展していくはずである。

「教員の総合的活動自己評価」は、前の段落で述べた各教員の個性的な取り組みを自らがレビューする自己評価と、外形的な活動状況調査から成る。この二者は、平成20年度に行われた国立大学法人評価の達成度評価と現況調査(水準評価)に相当する。前者は、各教員に固有のものであり、他者と比較することは難しく無意味でもある。後者は、相対的な比較が可能であり、各教員は自分の活動特性や活動量の部局内や全学における位置づけ

を知ることができる。さらに、マス分析を行うことにより大学全体の活動状況の変遷を追うことも可能である。

高知大学では、法人化された平成 16 (2004) 年度から平成 19 (2007) 年度まで、4年に渡り「教員の総合的活動自己評価」を行い、データを蓄積してきた。このデータをもとに、最近 4 年間の高知大学の活動状況を経年的に分析することを本報告書の主たる目的とする。

第 2 章 方法

この 4 年間、平成 16 年度「教員の総合的活動自己評価」の方法（『平成 16 年度に試行した「教員の総合的活動自己評価」に関する報告書』参照）を基本的には踏襲した。平成 17 年度から自己評価報告書の評点を 5 段階に変更した。『素点に基づく点数化』では、多様な業務に対応させるため一部の評価項目と素点を改善した。平成 17 年度から入力方法を Web 入力に変更した。これに伴い、総括表は自動抽出されるようになり、入力作業が省力化された。

[自己評価報告書]

自己評価報告書は、教員の活動を教育、研究、社会貢献、大学運営、診療活動（医学部臨床系教員のみ）の 4 ないし 5 分野（評価軸）に分け、個々の教員は、各活動分野における活動比率を割り当てた。本学の大学改革の基本姿勢である 4 つの C（Catch The Chance ! Let's Change, Challenge and Create）に照らして、Chance（改革目標）、Challenge（計画）、Create（成果）、Change（次年度の改善目標）に振り分けた。個々の教員は、各分野における活動について、昨年度作成した改革目標（Chance）と計画（Challenge）に基づいて、一年間の成果（Create）を記述するとともに、AA から D まで 5 段階の評点を付けることにより自己評価した。

具体的には、過去一年間の活動比率を活動分野毎に割り振り（トータル 100%）、活動分野毎に 5 段階評価（AA=5 点、A=4 点、B=3 点、C=2 点、D=1 点）した。AA は「目標を上回る成果であった」、A は「目標に十分到達している」、B は「目標におおむね到達しているが、改善の余地もある」、C は「目標にある程度到達しているが、改善の必要がある」、D は「目標への到達が不十分であり、大幅な改善の必要がある」を表している。ある教員の活動分野への活動比率（評点）が、教育活動 30% (A)、研究活動 40% (AA)、社会貢献活動 20% (B)、大学運営活動 10% (C) の場合、自己評価の合計点は $(30 \times 4) + (40 \times 5) + (20 \times 3) + (10 \times 2) = 400$ 点（最大 500 点）となる。

[活動状況資料]

活動状況資料は、各教員の活動内容を裏付ける客観的データである。各学部等の個性を

尊重するために、データ項目として共通項目以外に5学部（人文学部、教育学部、理学部、医学部、農学部）・1研究科〔黒潮圏海洋科学研究科（以下、黒潮圏研究科と略す）〕のそれぞれに固有の項目を設定した。さらに、文系と理系で研究業績に関する素点が異なることを鑑み、各教員が、所属部局とは無関係に自分の意思で文系か理系かを選択できるようにした。活動状況資料から自動的に総括表に相当するデータを抽出し、『素点に基づく点数化』を行なった。

[素点の算出法]

素点の算出法は、『平成16年度に試行した「教員の総合的活動自己評価」に関する報告書』の8～9ページに記載されている。簡単に述べると全教員の全活動量を10万点とし、平成16年度の活動分野の活動比率（教育活動31%、研究活動30%、社会貢献活動13%、大学運営活動14%、診療活動12%）に基づき、大項目の教育活動に3.1万点、研究活動に3.0万点、社会貢献活動に1.3万点、大学運営活動に1.4万点、診療活動に1.2万点を配分した（重みづけを行った）。それぞれの大項目内において、中項目の設定と重みづけを行い、さらに各中項目の下に小項目を設け、全学総件数で除することにより素点を定めた(表5-1)。言い換えると、素点と全学総件数を乗じる（素点×件数）と大学全体としての小項目の点数が計算され、小項目の和が中項目の点数、さらに中項目の合計が大項目の点数として計算される。活動分野内あるいは活動分野間をまたぐ素点の妥当性は、講義1時間当たりにより換算することにより検証した。論文業績に関しては学問分野の違いを考慮した。本学の「中期目標・中期計画」（研究に関する目標）において「論文数（理系教員は一人当たり年間1編以上、文系にあっては年間0.5編以上）」と明記されていることから、文系論文の素点は理系の2倍とした。

[素点の改訂]

活動量を評価するための項目と素点は、「質の評価」の問題など改善すべき点が残っているが、本評価システムで重要視している経年的変化（スパイラルアップしているか否か）の評価を担保するため、原則として、平成16年度に設定された評価項目と素点を据え置き、大勢に影響が出ないごく一部の評価項目と素点を改訂した（資料編参照）。

[次年度計画書]

各教員は、以上の自己評価に基づき、次年度の改善目標（Change）を立て、次年度計画書に「計画活動比率（%）」とともに記述した。この次年度改改善目標（Change）は、次年度自己評価書の改革目標（Chance）に相当する。

第3章 結果

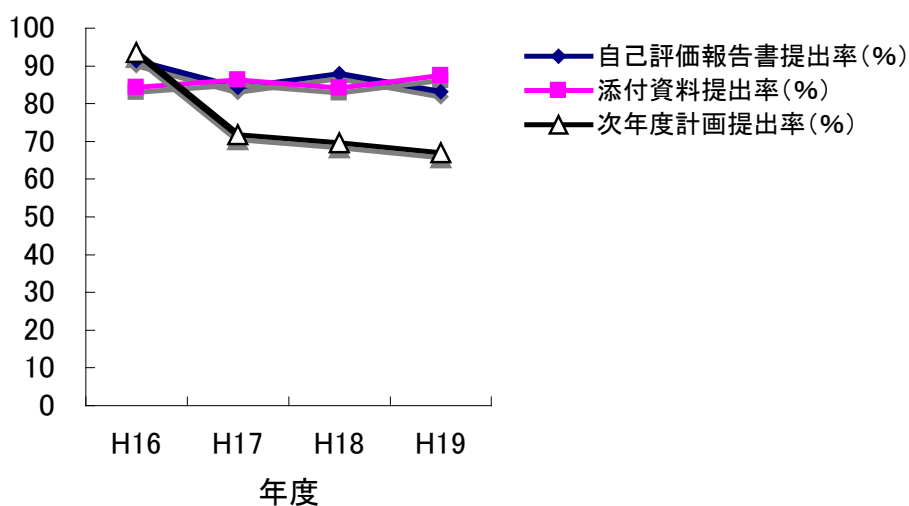
3-1節 自己評価報告書、活動状況資料、次年度計画書の提出状況

自己評価報告書と活動状況資料の提出率はほぼ一定しているが、次年度計画の提出率が下がってきている。よく言われることであるが、PDCAサイクルのCheckまではやるが、Actに結びつかないことが多い。改善こそ評価の本当の目的であることを再認識していただきたい。

表 3-1 自己評価報告書・活動状況資料・次年度計画提出状況

年度	総教員数(人)	自己評価報告書提出者数(人)	自己評価報告書提出率(%)	活動状況資料提出者数(人)	活動状況資料提出率(%)	次年度計画提出者数(人)	次年度計画提出率(%)
H16	622	569	91.5	525	84.4	582	93.6
H17	627	529	84.4	541	86.3	450	71.8
H18	620	545	87.9	522	84.2	432	69.7
H19	619	515	83.2	541	87.4	415	67.0

図3-1 自己評価報告書・添付資料・次年度計画書提出状況



3-2節 活動比率と自己評価点

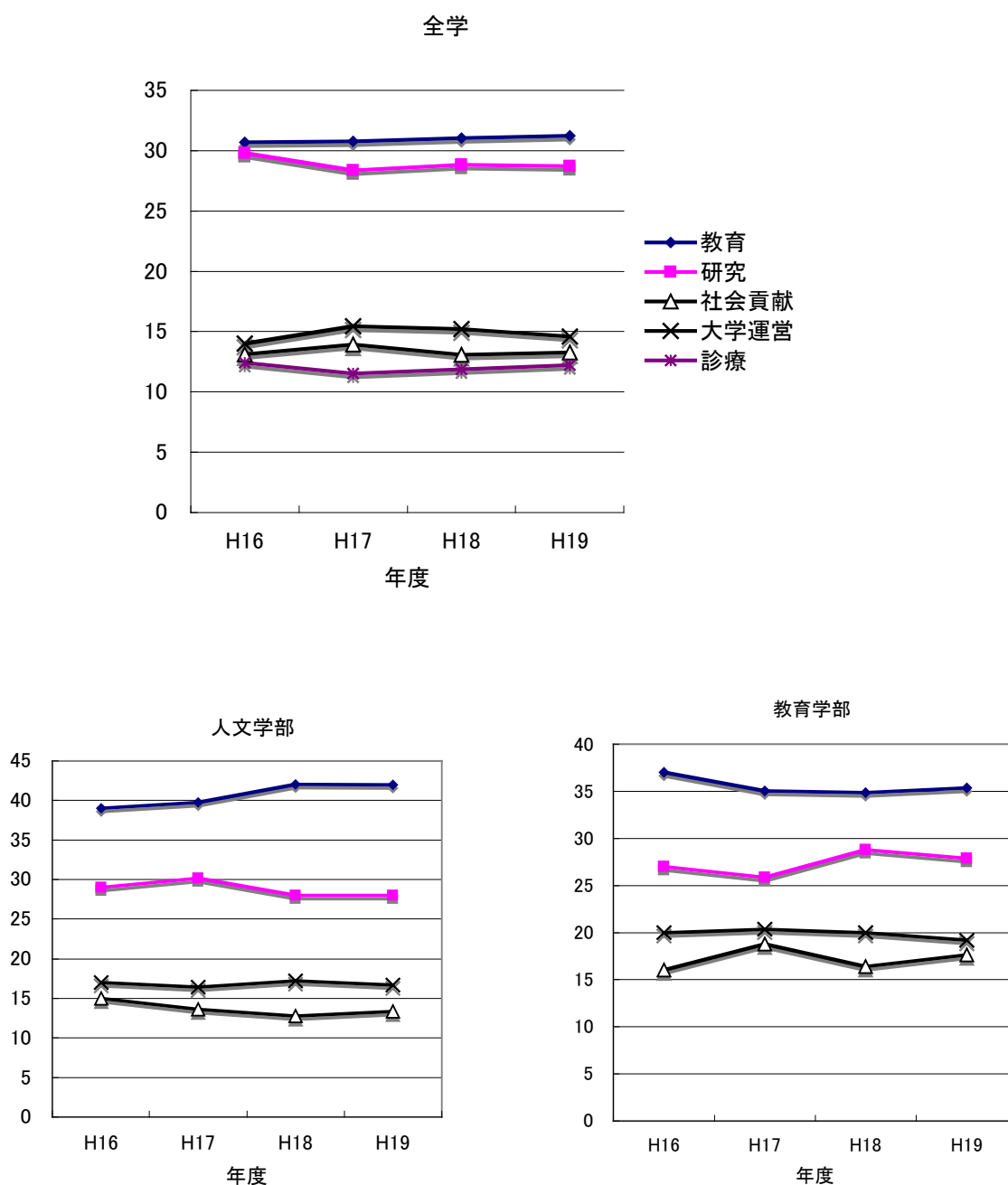
3-2-1 活動比率の推移

表 3-2 部局別活動比率の推移 (%)

学部等	年度	教育	研究	社会貢献	大学運営	診療
人文学部	H16	39	29	15	17	0
	H17	40	30	14	16	0
	H18	42	28	13	17	0
	H19	42	28	13	17	0
教育学部	H16	37	27	16	20	0
	H17	35	26	19	20	0
	H18	35	29	16	20	0
	H19	35	28	18	19	0
理学部	H16	36	37	11	15	0
	H17	36	34	13	18	0
	H18	36	36	12	16	0
	H19	36	37	11	15	0
医学部	H16	25	28	11	9	28
	H17	25	26	12	10	27
	H18	24	25	11	10	30
	H19	25	24	11	10	30
農学部	H16	33	32	17	18	0
	H17	34	32	16	19	0
	H18	32	31	16	20	0
	H19	33	33	16	19	0
黒潮圏海洋科学研究科	H16	28	43	14	15	0
	H17	28	38	15	20	0
	H18	32	37	18	14	0
	H19	29	38	16	18	0
全学共同利用施設	H16	29	27	18	24	2
	H17	27	23	18	26	6
	H18	15	56	8	21	0
	H19	26	34	17	19	3
全学	H16	31	30	13	14	12
	H17	31	28	14	15	12
	H18	31	29	13	15	12
	H19	31	29	13	15	12

分野別活動比率は、教員のエフォート管理を反映する。この4年間で、全学の分野別活動比率は大きく変動していない（表 3-2、図 3-2）。一方、各部局別でみると、人文学部とでは教育が上がって、研究が下がっている。逆に、教育学部では教育が下がって、研究が上がっている。理学部と農学部ではあまり変動はなく、医学部では研究が下がって、診療が上がっている。とくに、医学部の職階別活動比率をみると（図 3-3）、若手の助教や講師は殆どのエネルギーを診療活動に割いている。法人化後の病院経営の重点化と、最近大きな社会問題になっている臨床研修制度の悪影響が出ていると思われる。黒潮圏海洋科学研究科は研究が下がっているように見えるが、平成 16 年度だけが突出していた。

図 3-2 全学、各部局の分野別活動比率(自己申告)の推移



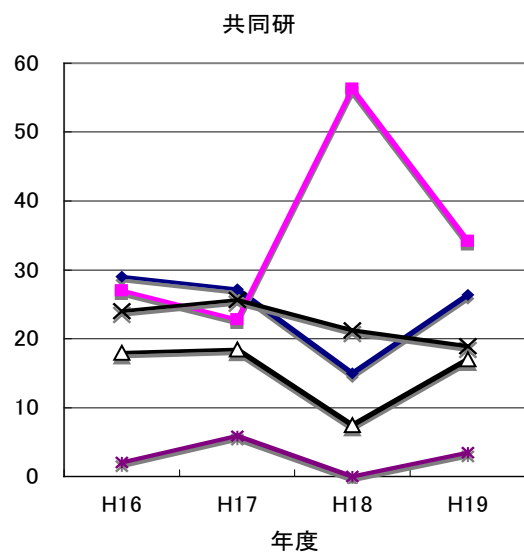
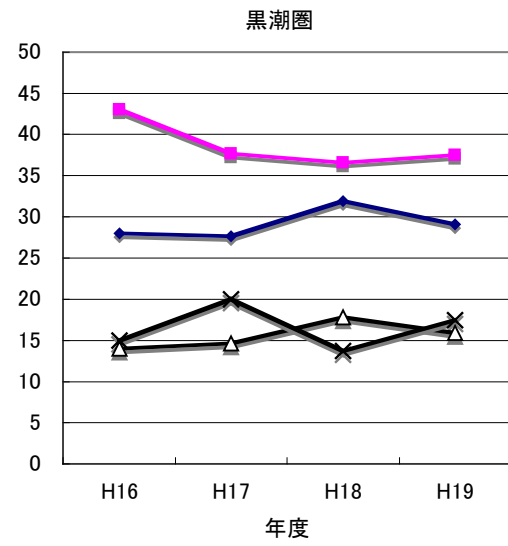
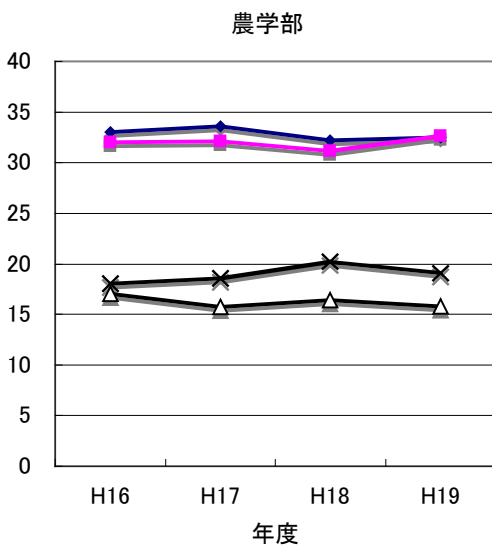
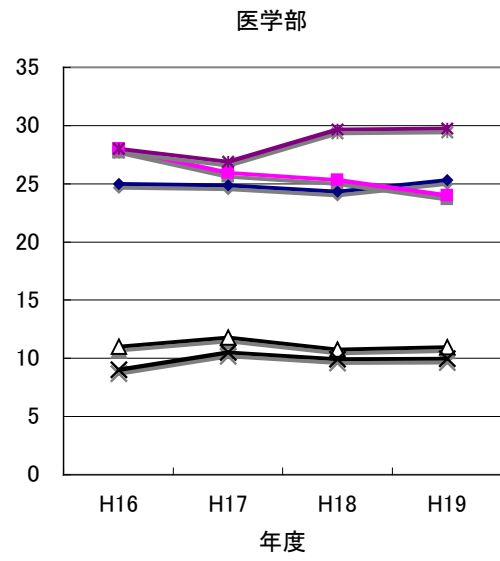
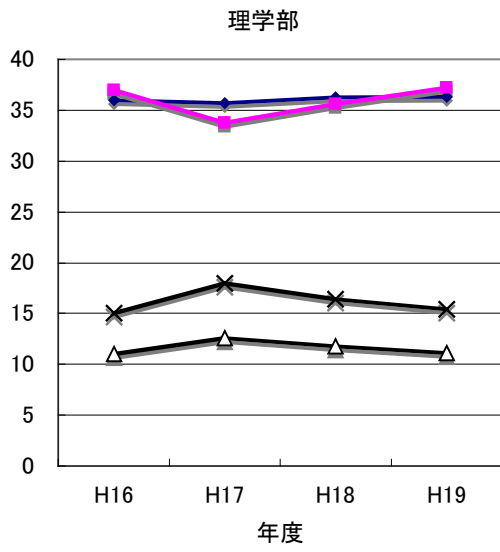
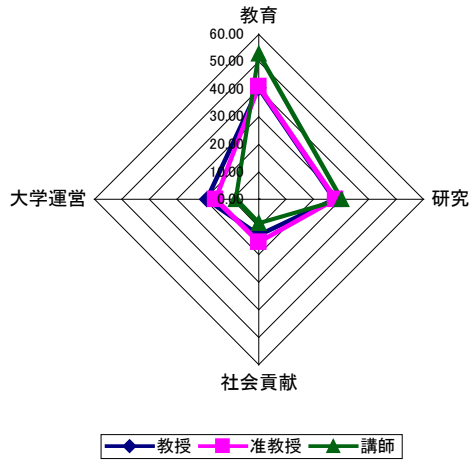
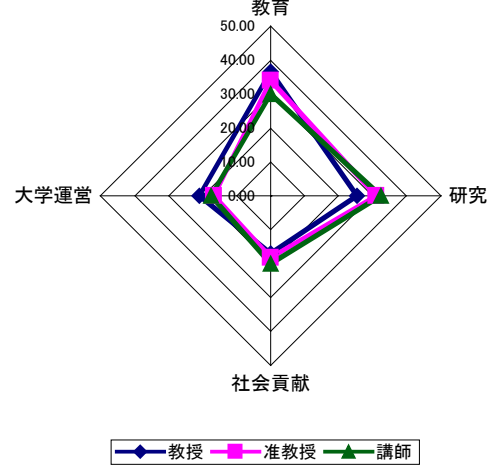


图 3-3 部局内階職別活動比率

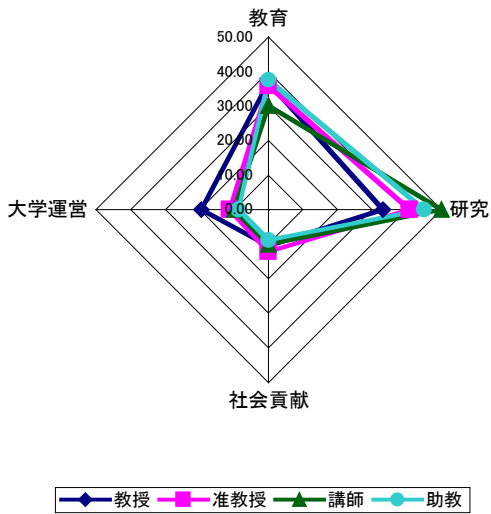
人文学部



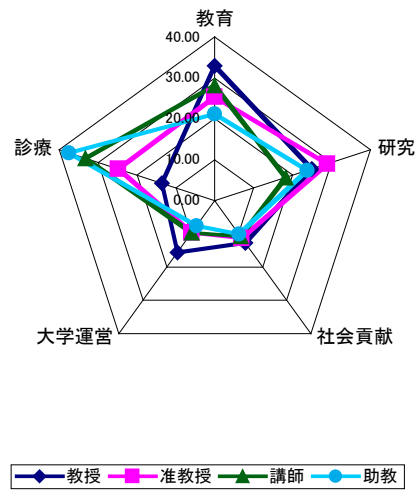
教育学部



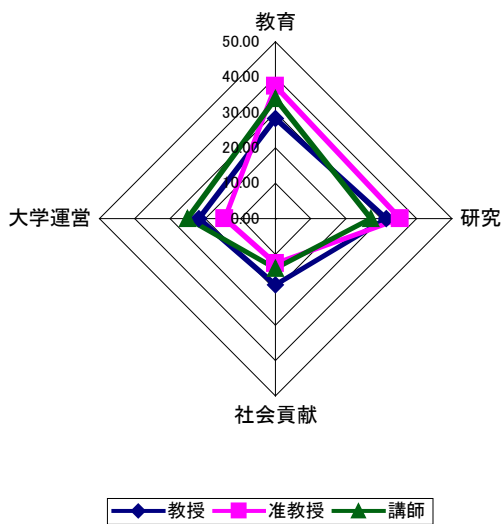
理学部



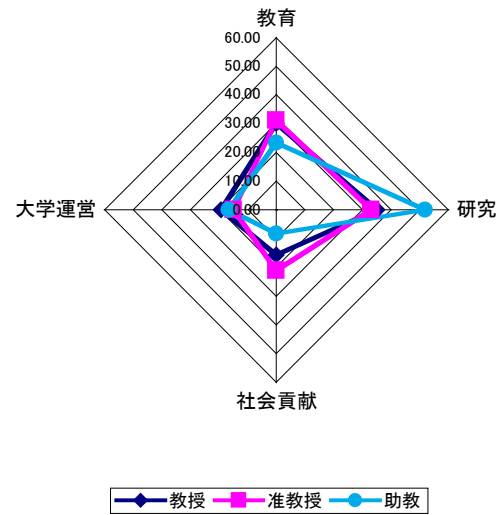
医学部



農学部



黒潮圏



3-2-2 自己評価点の推移

全学の平均自己評価点は過去3年間（平成16年度は400点満点であったので、この統計から外した）それほど大きな変動はないが、漸増傾向にある（表3-3、図3-4）。このことから、教員は概して自分ではよく働いていると感じていることがうかがわれる。活動分野では、教育、研究、診療活動に頑張っていると自己評価している。部局別では人文学部、教育学部で自己評価点が高い（表3-4、図3-5）。この他、黒潮圏海洋科学研究科の自己評価点の伸びが著しい。

表3-3 全学平均自己評価点の推移
(活動分野別)

	H17	H18	H19
教育活動	114	117	119
研究活動	97	102	102
社会貢献	51	49	51
大学運営	57	57	55
診療活動	43	45	47
計	362	370	373

表3-4 部局別平均自己評価点の推移

	H17	H18	H19
人文学部	389	403	401
教育学部	378	386	392
理学部	355	368	365
医学部	351	356	360
農学部	360	361	371
黒潮圏	336	348	363
全共施設	382	382	396

図3-4 全学平均自己評価点の推移(活動分野別)

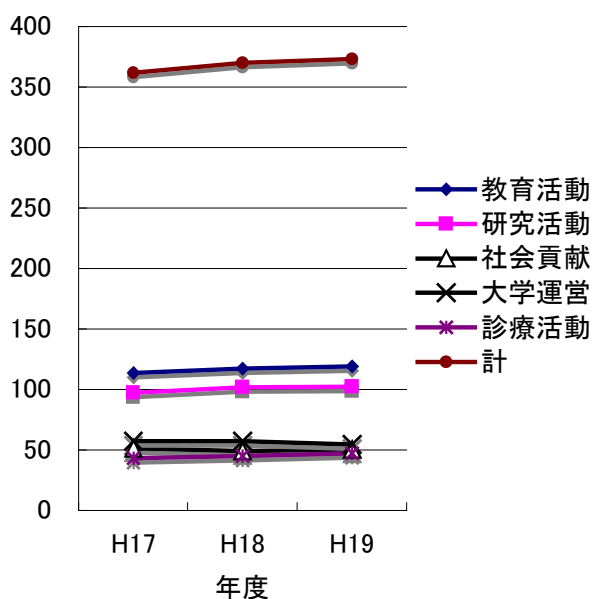
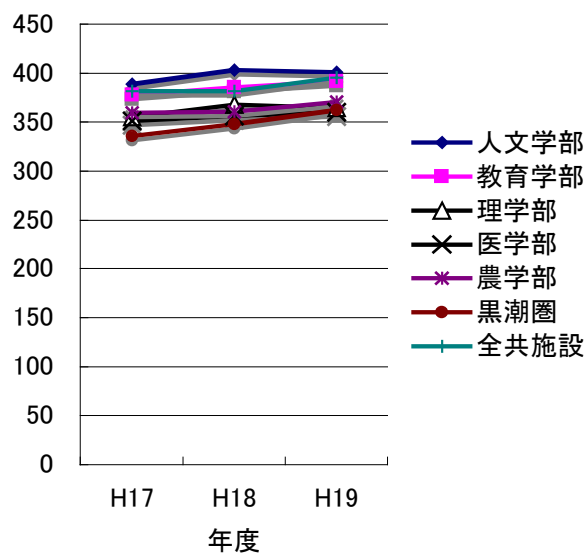


図3-5 部局別自己評価点の推移



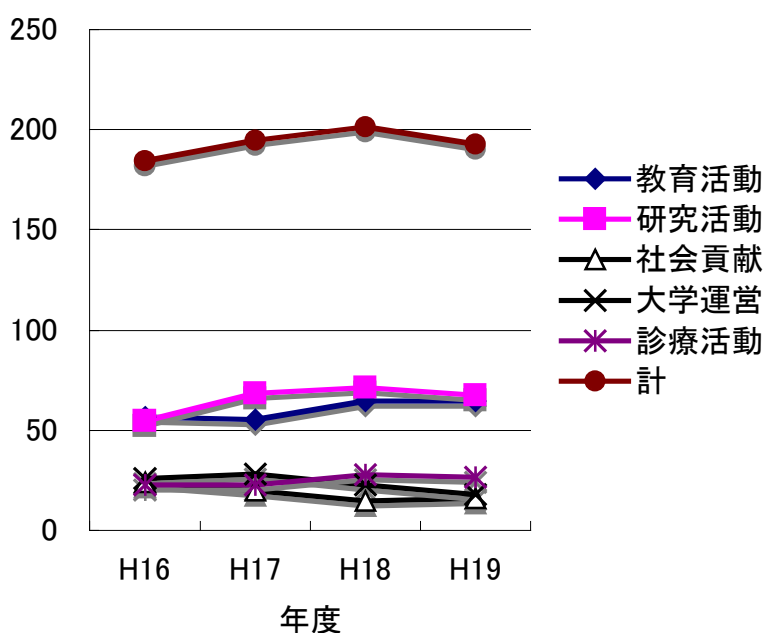
3-3 節 素点に基づく点数化

活動状況資料は、教員の活動を客観的に表し、自己評価を根拠づけるものである。活動状況資料から、定量的なデータを抽出し『素点に基づく点数化』を行なった。素点に基づき各教員や部局等の活動量を点数化し、活動量を客観的に示す指標とした。活動状況資料の提出数が年度により異なるので、標準化するため提出者数で除して、教員一人あたりの平均点で経年変化を調べた。平成 16 年度と比べて、17 年度、18 年度と活動量が上昇してきたが、19 年度は 17 年度よりも低下した（表 3-5、図 3-6）。これと同じ動きを示したのが研究活動である。教育活動は上昇傾向にある。社会貢献活動は 16 年度から 18 年度にかけて低下してきていたが、19 年度に盛り返した。

表 3-5 素点に基づく点数化の全学平均点の推移(活動分野別)

	H16	H17	H18	H19
教育活動	56.6	55.4	64.5	64.6
研究活動	54.9	68.5	71.5	67.6
社会貢献	24.1	19.9	14.6	15.9
大学運営	25.9	28.3	22.9	17.9
診療活動	22.9	22.6	27.9	26.6
計	184.3	194.7	201.4	192.7

図3-6 素点に基づく点数化の全学平均点の推移



3-4 節 活動分野別活動状況

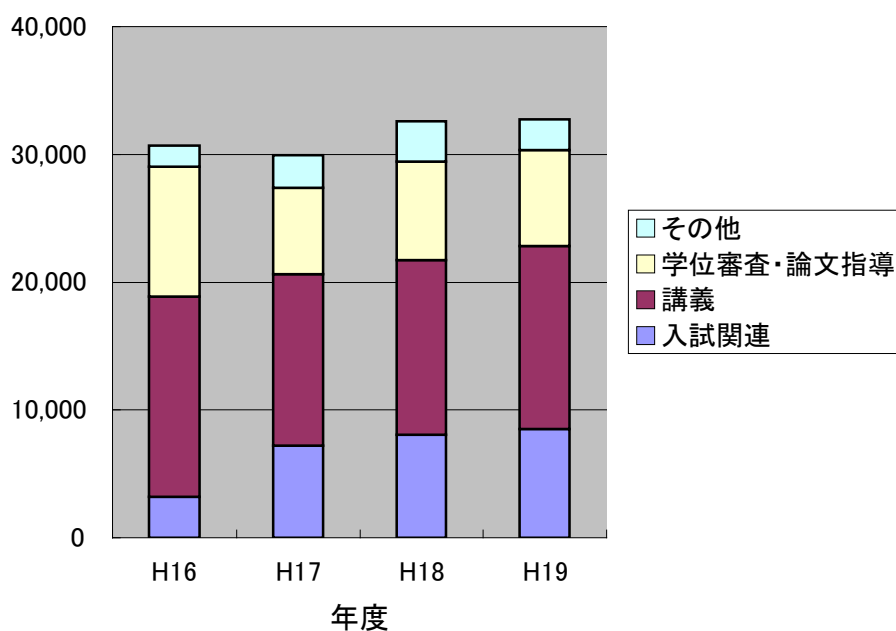
3-4-1 項 教育活動

教育活動は、入試関連、講義、学位審査・論文指導、その他の4つの中項目から成る。平成16年度に定めた各項目への配点割合は、入試関連(10.5%)、講義(51.0%)、学位審査・論文指導(33.1%)、その他(5.4%)であった。平成16年度から19年度にかけての教育活動の推移を表3-6と図3-7に示す。平成19年度は、平成16年度と比べて入試関連が上昇し、学位審査・論文指導が低下しているが、平成18年度とほぼ同じ活動量であった。

表3-6 平成16～19年度における教育活動の推移

中項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入試関連	3,219.6	7,187.6	8,062.7	8,534.2
講義	15,646.9	13,453.2	13,666.7	14,314.2
学位審査・論文指導	10,177.5	6,758.5	7,691.0	7,482.5
その他	1,663.2	2,554.9	3,168.9	2,429.0
合計	30,707.2	29,954.2	32,589.3	32,759.9

図3-7 教育活動の推移



3-4-1-1 入試関連

各部局の入試関連活動状況を表3-7に示す。

表 3-7 各部局の入試関連活動状況

入試関連 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
入試総括	項目なし	205.0	135.0	85.0	項目なし	375.0	390.0	280.0
問題出題	145.0	220.0	330.0	455.0	230.0	650.0	665.0	590.0
採点	105.0	154.0	248.5	287.0	168.0	462.0	406.0	1,169.0
面接	54.6	105.0	93.8	242.2	56.0	127.4	67.2	277.2
試験分析, 企画	51.0	45.0	45.0	30.0	129.0	96.0	81.0	42.0
受験生獲得対応	42.0	96.0	150.0	142.0	64.0	110.0	182.0	180.0
監督官時間数	項目なし	項目なし	項目なし	9.1	項目なし	項目なし	項目なし	6.5
その他	12.0	項目なし	項目なし	項目なし	22.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	409.6	825.0	1,002.3	1,250.3	669.0	1,820.4	1,791.2	2,544.7

入試関連 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
入試総括	項目なし	205.0	120.0	160.0	項目なし	85.0	405.0	80.0
問題出題	285.0	645.0	630.0	565.0	165.0	270.0	385.0	430.0
採点	199.5	357.0	434.0	374.5	101.5	119.0	157.5	150.5
面接	72.8	196.0	148.4	166.6	92.4	378.0	467.6	425.6
試験分析, 企画	105.0	39.0	66.0	63.0	45.0	21.0	66.0	18.0
受験生獲得対応	60.0	38.0	132.0	142.0	58.0	44.0	164.0	164.0
監督官時間数	項目なし	項目なし	項目なし	9.2	項目なし	項目なし	項目なし	12.7
その他	8.0	項目なし	項目なし	項目なし	66.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	730.3	1,480.0	1,530.4	1,480.3	527.9	917.0	1,645.1	1,280.8

入試関連 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
入試総括	項目なし	135.0	165.0	110.0	項目なし	10.0	5.0	0.0
問題出題	225.0	595.0	500.0	435.0	45.0	145.0	120.0	235.0
採点	164.5	374.5	406.0	388.5	35.0	38.5	49.0	63.0
面接	70.0	219.8	138.6	107.8	15.4	15.4	19.6	12.6
試験分析, 企画	21.0	15.0	39.0	24.0	24.0	0.0	0.0	0.0
受験生獲得対応	70.0	146.0	228.0	212.0	20.0	4.0	12.0	8.0
監督官時間数	項目なし	項目なし	項目なし	11.1	項目なし	項目なし	項目なし	0.6
その他	12.0	項目なし	項目なし	項目なし	0.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	562.5	1,485.3	1,476.6	1,288.4	139.4	212.9	205.6	319.2

入試関連小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
入試総括	項目なし	90.0	85.0	115.0	項目なし	1,105.0	1,305.0	830.0
問題出題	45.0	145.0	120.0	80.0	1,140.0	2,670.0	2,750.0	2,790.0
採点	31.5	105.0	87.5	59.5	805.0	1,610.0	1,788.5	2,492.0
面接	8.4	14.0	35.0	9.8	369.6	1,055.6	970.2	1,241.8
試験分析, 企画	78.0	45.0	48.0	78.0	453.0	261.0	345.0	255.0
受験生獲得対応	14.0	48.0	36.0	28.0	328.0	486.0	904.0	876.0
監督官時間数	項目なし	項目なし	項目なし	0.4	項目なし	項目なし	項目なし	49.4
その他	4.0	項目なし	項目なし	項目なし	124.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	180.9	447.0	411.5	370.7	3,219.6	7,187.6	8,062.7	8,534.2

3-4-1-2 講義

各部局の講義活動状況を表 3-8 に示す。教育学部は平成 19 年度に大幅に増加した。医学部と農学部は減少傾向にある。教育システムの変更等の原因が考えられる。医学部では、学生主体的問題解決型授業 PBL を主とする KMS コアカリキュラムが始まった。

表 3-8 各部局の講義活動状況

講義 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
共通教育	566.6	936.5	795.0	796.5	339.3	296.4	348.4	530.9
学部・大学院	1,229.9	2,483.9	1,498.3	1,518.9	2,181.0	2,407.0	2,670.3	4,017.0
他学部・他大学院	146.0	6.8	0.0	0.0	275.0	23.1	21.9	35.0
計	1,942.4	3,427.1	2,293.2	2,315.4	2,795.3	2,726.5	3,040.6	4,582.9

講義 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
共通教育	284.9	254.2	274.9	369.5	308.6	175.7	156.2	105.7
学部・大学院	1,323.6	1,492.6	1,436.2	1,428.5	3,565.5	2,435.9	2,682.7	2,110.3
他学部・他大学院	93.3	1.8	21.0	5.9	117.6	28.2	6.3	1.1
計	1,701.8	1,748.6	1,732.1	1,803.9	3,991.7	2,639.8	2,845.2	2,217.1

講義 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
共通教育	334.1	164.1	183.2	209.9	55.1	58.9	115.4	104.1
学部・大学院	4,017.0	1,972.4	2,627.5	2,338.8	282.3	329.9	482.5	350.5
他学部・他大学院	110.7	51.6	4.6	7.5	96.5	36.9	0.0	4.7
計	4,461.8	2,188.1	2,815.3	2,556.2	433.9	425.6	597.8	459.2

講義 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
共通教育	86.9	112.8	127.7	89.2	1,975.4	1,998.5	2,000.8	2,205.9
学部・大学院	142.9	172.9	207.0	184.8	12,742.1	11,294.6	11,604.4	11,948.8
他学部・他大学院	90.5	11.9	7.8	105.5	929.6	160.2	61.6	159.6
計	320.3	297.5	342.5	379.5	15,647.0	13,453.2	13,666.7	14,314.2

3-4-1-3 学位審査・論文指導

各部局の学位審査・論文指導活動状況を表 3-9 に示す。

表 3-9 各部局の学位審査・論文指導活動状況

学位審査 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
修士主査	16.0	12.0	38.0	1,160.0	60.0	34.0	64.0	850.0
修士副査	15.0	14.0	23.0	133.0	40.0	38.0	77.0	245.0
博士主査	0.0	0.0	0.0	8.0	3.0	0.0	0.0	0.0
博士副査	0.0	1.5	4.5	26.0	0.0	1.5	1.5	58.0
卒論指導	990.0	1,025.0	1,240.0	11.0	990.0	790.0	805.0	61.0
修論指導	112.0	84.0	154.0	0.0	189.0	112.0	294.0	0.0
博論指導	8.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	1,141.0	1,136.5	1,467.5	1,338.0	1,282.0	975.5	1,241.5	1,214.0

学位審査 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
修士主査	64.0	52.0	88.0	955.0	18.0	62.0	44.0	95.0
修士副査	100.0	90.0	79.0	434.0	19.0	46.0	48.0	224.0
博士主査	12.0	18.0	21.0	80.0	96.0	72.0	69.0	208.0
博士副査	13.5	16.5	9.0	126.0	85.5	54.0	64.5	38.0
卒論指導	1,230.0	940.0	920.0	124.0	185.0	100.0	145.0	44.0
修論指導	784.0	294.0	343.0	27.0	210.0	329.0	322.0	66.0
博論指導	304.0	64.0	48.0	21.0	624.0	232.0	288.0	49.5
計	2,507.5	1,474.5	1,508.0	1,767.0	1,237.5	895.0	980.5	724.5

学位審査 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
修士主査	114.0	76.0	88.0	900.0	8.0	14.0	10.0	160.0
修士副査	89.0	76.0	81.0	385.0	15.0	5.0	14.0	112.0
博士主査	36.0	48.0	60.0	256.0	6.0	0.0	3.0	48.0
博士副査	97.5	93.0	75.0	82.0	10.5	3.0	9.0	16.0
卒論指導	1,125.0	840.0	985.0	60.0	335.0	165.0	210.0	12.0
修論指導	980.0	392.0	364.0	51.0	168.0	70.0	70.0	15.0
博論指導	696.0	232.0	216.0	70.5	48.0	0.0	24.0	9.0
計	3,137.5	1,757.0	1,869.0	1,804.5	590.5	257.0	340.0	372.0

学位審査 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
修士主査	10.0	10.0	14.0	95.0	290.0	260.0	346.0	4,215.0
修士副査	15.0	9.0	18.0	98.0	293.0	278.0	340.0	1,631.0
博士主査	6.0	3.0	6.0	24.0	159.0	141.0	159.0	624.0
博士副査	1.5	6.0	7.5	12.0	208.5	175.5	171.0	358.0
卒論指導	100.0	95.0	125.0	20.0	4,955.0	3,955.0	4,430.0	332.0
修論指導	133.0	84.0	98.0	3.0	2,576.0	1,365.0	1,645.0	162.0
博論指導	16.0	56.0	16.0	10.5	1,696.0	584.0	600.0	160.5
計	281.5	263.0	284.5	262.5	10,177.5	6,758.5	7,691.0	7,482.5

3-4-1-4 その他の教育活動

各部署のその他の教育活動の状況を表 3-10 に示す。

表 3-10 各部署のその他の教育活動の状況

その他 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
FD 企画	7.5	項目なし	49.5	28.5	9.0	項目なし	87.0	76.5
FD パネリスト, 講師	項目なし	項目なし	項目なし	2.0	項目なし	項目なし	項目なし	4.5
FD 参加	3.8	5.5	4.3	3.1	4.0	5.0	6.1	6.5
卒業生就職企業訪問	項目なし	22.0	11.0	16.0	項目なし	24.0	38.0	35.0
企業来訪者対応	項目なし	11.0	19.0	17.0	項目なし	62.0	59.0	82.0
就職相談	169.0	182.0	149.0	174.0	178.0	206.0	229.0	237.0
留学支援	19.0	62.0	21.0	36.0	14.0	35.0	35.0	14.0
クラブ顧問	12.0	62.0	50.0	43.0	18.0	273.0	588.0	248.0
その他	2.0	項目なし	項目なし	項目なし	0.4	項目なし	項目なし	項目なし
計	213.3	344.5	303.8	319.6	223.4	605.0	1,042.1	703.5

その他 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
FD 企画	6.0	項目なし	9.0	13.5	9.0	項目なし	103.5	45.0
FD パネリスト, 講師	項目なし	項目なし	項目なし	2.5	項目なし	項目なし	項目なし	4.0
FD 参加	4.5	8.8	7.8	9.6	4.6	5.9	3.9	4.0
卒業生就職企業訪問	項目なし	37.0	29.0	24.0	項目なし	3.0	9.0	0.0
企業来訪者対応	項目なし	150.0	171.0	180.0	項目なし	128.0	109.0	72.0
就職相談	204.0	159.0	172.0	170.0	236.0	299.0	169.0	127.0
留学支援	25.0	0.0	4.0	1.0	104.0	16.0	18.0	9.0
クラブ顧問	11.0	12.0	12.0	9.0	35.0	52.0	135.0	87.0
その他	1.2	項目なし	項目なし	項目なし	9.4	項目なし	項目なし	項目なし
計	251.7	366.8	404.8	409.6	398.0	503.9	547.4	348.0

その他 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
FD 企画	15.0	項目なし	81.0	58.5	0.0	項目なし	39.0	22.5
FD パネリスト, 講師	項目なし	項目なし	項目なし	1.5	項目なし	項目なし	項目なし	4.0
FD 参加	5.4	8.3	11.4	8.4	1.0	0.1	2.4	2.0
卒業生就職企業訪問	項目なし	80.0	89.0	55.0	項目なし	0.0	5.0	3.0
企業来訪者対応	項目なし	233.0	156.0	165.0	項目なし	18.0	21.0	10.0
就職相談	377.0	241.0	278.0	213.0	75.0	13.0	42.0	9.0
留学支援	31.0	10.0	11.0	12.0	2.0	2.0	6.0	3.0
クラブ顧問	9.0	33.0	51.0	15.0	2.0	2.0	1.0	1.0
その他	10.2	項目なし	項目なし	項目なし	0.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	447.6	605.3	677.4	528.4	80.0	35.1	116.4	54.5

その他 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
FD 企画	9.0	項目なし	36.0	15.0	55.5	項目なし	405.0	259.5
FD パネリスト, 講師	項目なし	項目なし	項目なし	3.5	項目なし	項目なし	項目なし	22.0
FD 参加	1.2	1.3	1.0	1.9	24.5	34.9	36.9	35.5
卒業生就職企業訪問	項目なし	2.0	3.0	2.0	項目なし	168.0	184.0	135.0
企業来訪者対応	項目なし	7.0	6.0	2.0	項目なし	609.0	541.0	528.0
就職相談	28.0	78.0	22.0	27.0	1,267.0	1,178.0	1,061.0	957.0
留学支援	6.0	2.0	4.0	8.0	201.0	127.0	99.0	83.0
クラブ顧問	5.0	4.0	5.0	6.0	92.0	438.0	842.0	409.0
その他	0.0	項目なし	項目なし	項目なし	23.2	項目なし	項目なし	項目なし
計	49.2	94.3	77.0	65.4	1,663.2	2,554.9	3,168.9	2,429.0

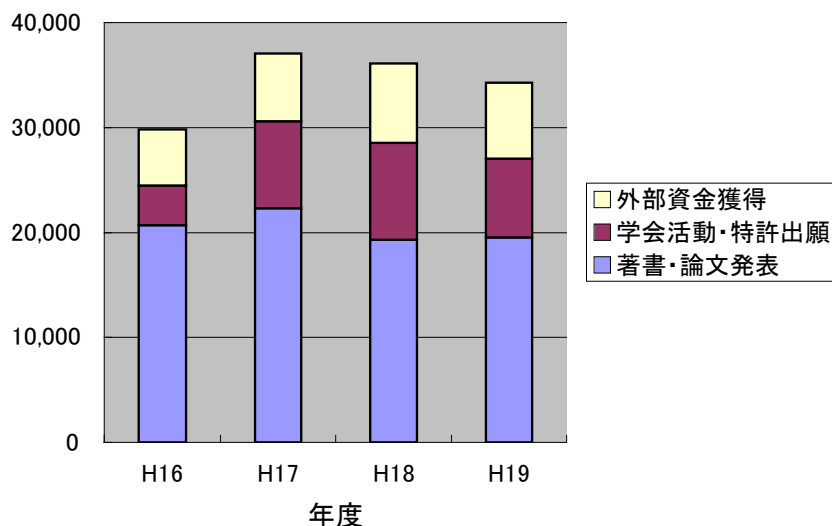
3-4-2 項 研究活動

研究活動は、著書・論文発表、学会活動・特許出願、外部資金獲得の3つの中項目から成る。平成16年度に定めた各項目への配点割合は、著書・論文発表（69%）、学会活動・特許出願（13%）、外部資金獲得（18%）であった。平成16年度から19年度にいたる各中項目の経年変化を表3-11と図3-8に示す。平成19年度は18年度と比べて学会活動・特許出願が低下した。

表3-11 平成16年度～19年度における研究活動の推移

中項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
著書・論文発表	20,709.0	22,291.5	19,300.5	19,522.5
学会活動・特許出願	3,771.6	8,326.6	9,231.5	7,542.3
外部資金獲得	5,326.4	6,451.6	7,571.5	7,227.0
合計	29,807.0	37,069.7	36,103.5	34,291.9

図3-8 研究活動の推移



3-4-2-1 著書・論文発表

各部局の著書・論文発表活動状況を表 3-12 に示す。

表 3-12 各部局の著書・論文発表活動状況

著書・論文 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
著書欧文	60.0	600.0	90.0	120.0	30.0	870.0	60.0	195.0
著書邦文	180.0	48.0	240.0	276.0	324.0	72.0	354.0	354.0
総説欧文	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	30.0	90.0	60.0
総説邦文	168.0	12.0	24.0	12.0	24.0	96.0	84.0	60.0
原著論文欧文	1,200.0	180.0	390.0	270.0	630.0	630.0	420.0	375.0
原著論文邦文	780.0	480.0	684.0	420.0	384.0	684.0	816.0	852.0
症例報告欧文	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
症例報告邦文	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	129.0	96.0	114.0	147.0	114.0	318.0	138.0	138.0
作品、演奏会、競技会など	項目なし	項目なし	0.0	0.0	項目なし	項目なし	504.0	864.0
計	2,520.0	1,416.0	1,542.0	1,245.0	1,566.0	2,700.0	2,466.0	2,898.0

著書・論文 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
著書欧文	60.0	195.0	135.0	120.0	615.0	1,335.0	105.0	150.0
著書邦文	90.0	0.0	60.0	24.0	846.0	480.0	612.0	618.0
総説欧文	45.0	15.0	30.0	165.0	240.0	270.0	210.0	180.0
総説邦文	30.0	30.0	42.0	30.0	954.0	780.0	828.0	684.0
原著論文欧文	1,695.0	1,965.0	2,370.0	2,265.0	6,840.0	6,255.0	5,265.0	5,595.0
原著論文邦文	168.0	114.0	216.0	168.0	1,008.0	708.0	816.0	546.0
症例報告欧文	6.0	0.0	0.0	0.0	300.0	432.0	450.0	354.0
症例報告邦文	1.5	0.0	0.0	0.0	151.5	150.0	118.5	136.5
その他	55.5	61.5	30.0	22.5	118.5	154.5	100.5	75.0
作品、演奏会、競技会など	項目なし	項目なし	0.0	0.0	項目なし	項目なし	0.0	0.0
計	2,151.0	2,380.5	2,883.0	2,794.5	11,073.0	10,564.5	8,505.0	8,338.5

著書・論文 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
著書欧文	150.0	390.0	15.0	75.0	15.0	165.0	0.0	75.0
著書邦文	90.0	0.0	114.0	78.0	18.0	12.0	78.0	144.0
総説欧文	15.0	30.0	30.0	15.0	0.0	60.0	0.0	45.0
総説邦文	30.0	102.0	30.0	42.0	24.0	120.0	12.0	42.0
原著論文欧文	1,440.0	2,145.0	1,710.0	1,575.0	375.0	510.0	435.0	510.0
原著論文邦文	252.0	288.0	360.0	240.0	84.0	84.0	72.0	60.0
症例報告欧文	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
症例報告邦文	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	55.5	171.0	90.0	72.0	37.5	61.5	37.5	85.5
作品、演奏会、競技会など	項目なし	項目なし	0.0	0.0	項目なし	項目なし	0.0	0.0
計	2,032.5	3,126.0	2,349.0	2,097.0	553.5	1,012.5	634.5	961.5

著書・論文 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
著書欧文	30.0	75.0	15.0	60.0	960.0	3,630.0	420.0	795.0
著書邦文	78.0	0.0	90.0	54.0	1,626.0	612.0	1,548.0	1,548.0
総説欧文	0.0	0.0	0.0	0.0	360.0	405.0	360.0	465.0
総説邦文	42.0	36.0	54.0	0.0	1,272.0	1,176.0	1,074.0	870.0
原著論文欧文	525.0	810.0	525.0	840.0	12,705.0	12,495.0	11,115.0	11,430.0
原著論文邦文	108.0	144.0	204.0	204.0	2,784.0	2,502.0	3,168.0	2,490.0
症例報告欧文	0.0	0.0	0.0	0.0	306.0	432.0	450.0	354.0
症例報告邦文	0.0	0.0	1.5	0.0	156.0	150.0	120.0	136.5
その他	30.0	27.0	31.5	30.0	540.0	889.5	541.5	570.0
作品, 演奏会, 競技会など	項目なし	項目なし	0.0	0.0	項目なし	項目なし	504.0	864.0
計	813.0	1,092.0	921.0	1,188.0	20,709.0	22,291.5	19,300.5	19,522.5

3-4-2-2 学会活動・特許出願

各部局における学会活動・特許出願状況を表 3-13 に示す。平成 17 年度から論文査読と学術誌編集の評価項目を追加した。

表 3-13 各部局における学会活動・特許出願状況

学会活動 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国内参加	7.6	50.8	62.0	40.4	17.6	52.0	97.2	46.8
国内発表	23.4	11.4	16.2	15.6	25.8	42.0	45.6	40.8
国内司会	4.8	84.0	20.0	12.0	8.8	130.4	24.8	24.0
国際参加	0.0	2.7	4.5	5.4	0.0	3.6	1.8	6.3
国際発表	6.0	7.5	7.5	16.5	22.5	28.5	28.5	37.5
国際司会	38.5	17.5	3.5	14.0	7.0	7.0	3.5	7.0
受賞	0.0	75.0	0.0	50.0	100.0	100.0	150.0	125.0
特許出願	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	0.0
特許取得	0.0	項目なし	0.0	0.0	0.0	項目なし	30.0	0.0
研究セミナー	13.2	12.0	14.4	14.4	6.0	20.4	50.4	28.8
論文査読	項目なし	26.4	56.4	97.2	項目なし	114.0	164.4	172.8
学術誌編集	項目なし	110.0	160.0	130.0	項目なし	100.0	360.0	220.0
その他	8.0	項目なし	項目なし	項目なし	45.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	101.5	397.3	344.5	395.5	237.7	607.9	961.2	709.0

学会活動 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国内参加	55.2	77.6	72.8	54.0	350.4	342.0	292.4	225.2
国内発表	43.2	152.4	184.8	171.0	285.0	764.4	653.4	645.6
国内司会	25.6	312.8	32.8	34.4	159.2	674.4	131.2	102.4
国際参加	28.8	14.4	8.1	10.8	159.3	26.1	35.1	27.9
国際発表	33.0	130.5	195.0	88.5	196.5	331.5	358.5	294.0
国際司会	31.5	119.0	14.0	24.5	45.5	14.0	3.5	3.5
受賞	50.0	75.0	25.0	75.0	600.0	600.0	475.0	525.0
特許出願	85.0	35.0	60.0	65.0	45.0	125.0	90.0	80.0
特許取得	30.0	項目なし	30.0	0.0	60.0	項目なし	0.0	60.0
研究セミナー	26.4	13.2	26.4	22.8	116.4	116.4	78.0	97.2
論文査読	項目なし	169.2	289.2	250.8	項目なし	333.6	400.8	343.2
学術誌編集	項目なし	250.0	950.0	510.0	項目なし	600.0	1,070.0	610.0
その他	4.0	項目なし	項目なし	項目なし	35.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	412.7	1,349.1	1,888.1	1,306.8	2,052.3	3,927.4	3,587.9	3,014.0

学会活動 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国内参加	54.4	66.0	78.0	58.4	7.6	15.2	10.8	8.4
国内発表	55.2	153.0	178.2	171.6	20.4	33.0	30.6	34.8
国内司会	43.2	241.6	50.4	36.0	6.4	49.6	10.4	4.0
国際参加	10.8	5.4	3.6	2.7	0.0	0.9	0.9	0.0
国際発表	42.0	81.0	85.5	94.5	9.0	28.5	19.5	19.5
国際司会	10.5	24.5	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
受賞	100.0	175.0	125.0	200.0	25.0	25.0	50.0	25.0
特許出願	75.0	135.0	40.0	70.0	110.0	15.0	0.0	5.0
特許取得	180.0	項目なし	210.0	120.0	項目なし	0.0	0.0	0.0
研究セミナー	24.0	30.0	27.6	32.4	27.6	3.6	2.4	2.4
論文査読	項目なし	226.8	250.8	232.8	項目なし	110.4	94.8	69.6
学術誌編集	項目なし	250.0	590.0	500.0	項目なし	130.0	190.0	70.0
その他	28.0	項目なし	項目なし	項目なし	7.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	623.1	1,388.3	1,639.1	1,518.4	216.5	411.2	409.4	238.7

学会活動 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国内参加	13.2	16.0	23.2	21.2	506.0	619.6	636.4	454.4
国内発表	13.8	31.2	76.8	75.0	466.8	1,187.4	1,185.6	1,154.4
国内司会	7.2	22.4	8.8	10.4	255.2	1,515.2	278.4	223.2
国際参加	11.7	4.5	3.6	2.7	210.6	57.6	57.6	55.8
国際発表	7.5	16.5	43.5	52.5	316.5	624.0	738.0	603.0
国際司会	0.0	0.0	0.0	3.5	136.5	182.0	24.5	52.5
受賞	25.0	75.0	75.0	25.0	900.0	1,125.0	900.0	1,025.0
特許出願	15.0	5.0	10.0	20.0	335.0	325.0	205.0	240.0
特許取得	0.0	項目なし	30.0	30.0	270.0	項目なし	300.0	210.0
研究セミナー	8.4	8.4	13.2	4.8	222.0	204.0	212.4	202.8
論文査読	項目なし	26.4	37.2	34.8	項目なし	1,006.8	1,293.6	1,201.2
学術誌編集	項目なし	40.0	80.0	80.0	項目なし	1,480.0	3,400.0	2,120.0
その他	26.0	項目なし	項目なし	項目なし	153.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	127.8	245.4	401.3	359.9	3,771.6	8,326.6	9,231.5	7,542.3

3-4-2-3 外部資金獲得

各部局における外部資金獲得状況を表 3-14 に示す。

表 3-14 各部局における外部資金獲得状況

外部資金獲得 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
科研金額	42.5	170.5	265.1	225.9	109.4	348.9	584.6	405.2
科研採択数	2.8	6.4	9.2	7.5	8.4	8.4	12.8	10.3
科研応募数	3.3	10.0	10.0	8.4	9.3	13.8	14.8	10.8
共同研究	4.8	2.4	3.9	15.9	14.0	18.3	12.0	9.3
受託研究・奨学寄附金	3.9	0.0	2.2	5.5	14.0	14.3	11.9	16.5
学長、学部長裁量経費	16.8	53.0	40.1	51.9	20.9	41.3	37.8	69.6
その他	9.0	0.0	3.9	178.1	1.7	29.6	42.2	38.8
計	83.1	242.3	334.4	493.1	177.5	474.4	716.1	560.3

外部資金獲得 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
科研金額	407.9	264.5	446.7	787.0	1,389.4	1,476.1	1,288.8	1,423.8
科研採択数	12.0	12.4	14.4	20.3	34.4	48.4	32.8	37.0
科研応募数	17.0	30.0	23.0	14.0	45.3	78.8	55.5	24.4
共同研究	52.3	76.6	160.5	167.5	159.6	69.0	92.0	189.4
受託研究・奨学寄附金	93.3	55.7	310.4	150.4	824.8	551.3	613.5	421.6
学長、学部長裁量経費	132.3	79.6	68.0	22.1	107.3	135.4	117.4	149.4
その他	199.3	64.4	38.8	47.6	180.5	334.0	512.2	829.0
計	914.1	583.2	1,061.7	1,208.9	2,741.3	2,693.0	2,712.2	3,074.5

外部資金獲得 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
科研金額	283.7	352.0	717.2	385.2	135.0	450.3	327.8	150.1
科研採択数	7.6	16.0	12.8	19.8	3.6	8.0	2.8	4.5
科研応募数	16.5	31.8	20.3	14.8	4.5	9.5	6.0	2.0
共同研究	54.4	34.0	187.4	42.3	2.3	6.0	6.9	5.4
受託研究・奨学寄附金	291.6	427.9	382.8	487.9	65.0	639.3	33.8	52.1
学長、学部長裁量経費	135.2	120.9	183.2	97.7	37.7	37.4	48.0	16.3
その他	37.1	32.5	374.1	134.1	3.0	8.3	23.3	16.4
計	826.0	1,015.0	1,877.7	1,181.7	251.1	1,158.7	448.6	246.7

外部資金獲得 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
科研金額	164.0	179.9	230.5	333.3	2,531.8	3,242.0	3,860.5	3,710.3
科研採択数	2.4	3.2	5.2	7.5	71.2	102.8	90.0	106.8
科研応募数	4.0	6.5	7.3	5.6	99.8	180.3	136.8	80.0
共同研究	14.3	8.0	4.3	17.0	301.8	214.3	467.0	446.8
受託研究・奨学寄附金	60.1	55.3	42.4	42.2	1,352.6	1,743.8	1,397.1	1,176.1
学長、学部長裁量経費	69.3	32.1	124.7	48.6	519.5	499.8	619.1	455.6
その他	19.2	0.0	6.6	7.7	449.8	468.8	1,001.0	1,251.6
計	333.3	285.0	420.9	461.8	5,326.4	6,451.6	7,571.5	7,227.0

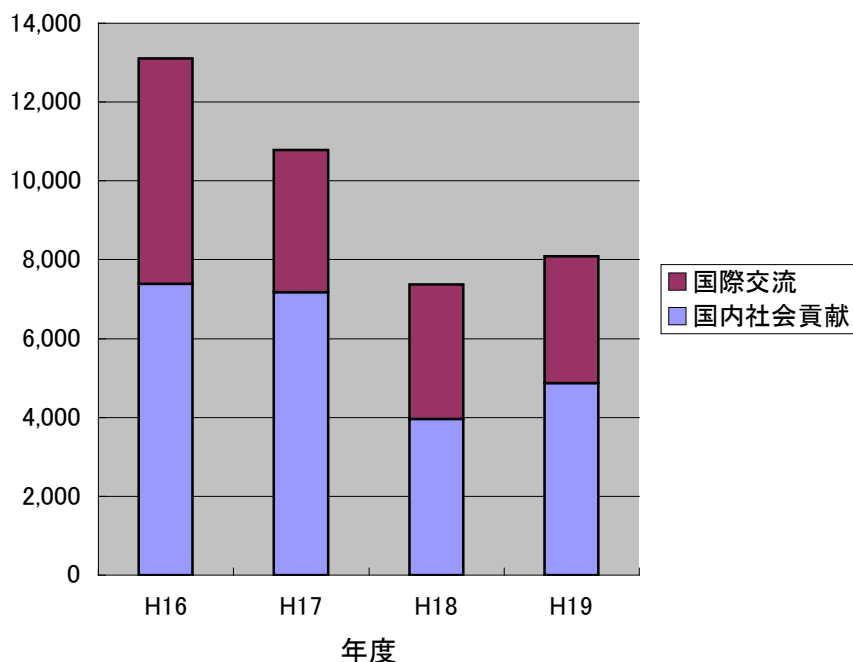
3-4-3 項 社会貢献活動

社会貢献活動は、国内社会貢献、国際交流の2つの中項目から成る。平成16年度に定めた各項目への配点割合は、国内社会貢献（56%）、国際交流（44%）であった。平成16年度から19年度いたる各中項目の経年変化を表3-15と図3-9に示す。

表3-15 平成16～19年度における社会貢献活動の推移

中項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
国内社会貢献	7,384.0	7,183.2	3,962.4	4,874.9
国際交流	5,724.2	3,598.4	3,418.0	3,208.4
合計	13,108.2	10,781.6	7,380.4	8,083.3

図3-9 社会貢献活動の推移



3-4-3-1 国内社会貢献活動

各部局における国内社会貢献活動状況を表 3-16 に示す。起業活動が年々増加している。

表 3-16 各部局における国内社会貢献活動状況

国内社会貢献 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学外教育活動	183.2	404.1	185.6	154.9	385.1	1,026.1	446.5	515.7
講演、研修	40.6	48.3	33.6	46.2	177.8	195.3	219.1	207.9
審議会活動	80.5	36.4	30.1	42.7	72.1	69.3	77.7	74.2
産学官連携	37.6	37.6	14.1	9.4	75.2	75.2	61.1	70.5
ボランティア	11.3	9.0	8.3	6.8	37.5	17.3	13.5	16.5
メディア啓発	7.5	9.8	12.0	10.5	30.8	13.5	16.5	18.0
鑑定	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
保健医療従事者教育活動	0.0	項目なし	項目なし	項目なし	28.5	項目なし	項目なし	項目なし
審査員、審判	4.5	0.0	0.0	0.0	63.8	39.0	33.0	31.5
同窓会活動	7.6	1.2	0.4	0.4	7.6	0.4	1.2	2.0
起業活動	項目なし	0.0	0.0	0.0	項目なし	0.0	0.0	0.0
その他	1.2	項目なし	項目なし	項目なし	3.8	項目なし	項目なし	項目なし
計	379.0	546.4	284.1	270.9	887.1	1,436.1	868.6	936.3

国内社会貢献 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学外教育活動	155.4	154.8	51.9	65.1	600.8	1,235.9	350.4	354.4
講演、研修	41.3	39.2	39.9	32.2	293.3	224.7	184.8	217.7
審議会活動	39.2	50.4	37.1	30.1	115.5	64.4	74.9	77.7
産学官連携	164.5	51.7	56.4	56.4	239.7	159.8	131.6	131.6
ボランティア	1.5	0.8	0.8	0.0	47.3	17.3	18.0	22.5
メディア啓発	6.8	4.5	14.3	6.8	51.8	37.5	25.5	39.8
鑑定	75.0	0.0	0.0	0.0	545.0	1,055.0	145.0	1,055.0
保健医療従事者教育活動	0.0	項目なし	項目なし	項目なし	144.8	項目なし	項目なし	項目なし
審査員、審判	34.5	0.0	0.0	0.0	91.5	0.0	0.0	0.0
同窓会活動	4.0	0.4	0.4	0.4	9.2	2.4	4.8	5.2
起業活動	項目なし	0.0	0.0	0.0	項目なし	50.0	0.0	100.0
その他	3.2	項目なし	項目なし	項目なし	358.2	項目なし	項目なし	項目なし
計	525.4	301.8	200.7	191.0	2,497.0	2,847.0	935.0	2,003.9

国内社会貢献 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学外教育活動	215.3	350.0	110.9	64.5	47.4	28.6	60.4	36.0
講演、研修	84.7	88.2	84.0	108.5	34.3	28.7	19.6	26.6
審議会活動	128.8	92.4	101.5	75.6	44.8	28.7	37.8	33.6
産学官連携	634.5	883.6	878.9	648.6	79.9	9.4	18.8	32.9
ボランティア	32.3	17.3	8.3	24.8	8.3	4.5	6.0	3.0
メディア啓発	41.3	22.5	39.8	34.5	12.8	3.0	6.8	2.3
鑑定	60.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
保健医療従事者教育活動	0.0	項目なし	項目なし	項目なし	2.3	項目なし	項目なし	項目なし
審査員、審判	30.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0
同窓会活動	10.8	4.8	4.8	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
起業活動	項目なし	0.0	0.0	100.0	項目なし	0.0	50.0	0.0
その他	8.3	項目なし	項目なし	項目なし	0.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	1,245.9	1,458.8	1,228.1	1,060.1	266.7	102.9	199.4	134.4

国内社会貢献 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学外教育活動	66.1	396.0	89.7	93.0	1,653.3	3,595.6	1,295.4	1,283.7
講演、研修	26.6	30.1	43.4	46.9	698.6	654.5	624.4	686.0
審議会活動	53.9	29.4	30.8	45.5	534.8	371.0	386.4	379.4
産学官連携	1,400.6	14.1	28.2	32.9	2,632.0	1,231.4	1,189.1	982.3
ボランティア	3.8	3.0	1.5	2.3	141.8	69.0	56.3	75.8
メディア啓発	12.8	16.5	5.3	6.8	163.5	107.3	120.0	118.5
鑑定	0.0	0.0	0.0	0.0	715.0	1,055.0	145.0	1,055.0
保健医療従事者教育活動	0.8	項目なし	項目なし	項目なし	176.3	項目なし	項目なし	項目なし
審査員、審判	12.8	0.0	0.0	0.0	249.0	39.0	33.0	31.5
同窓会活動	2.4	1.2	1.2	1.2	41.6	10.4	12.8	12.8
起業活動	項目なし	0.0	50.0	50.0	項目なし	50.0	100.0	250.0
その他	3.5	項目なし	項目なし	項目なし	378.2	項目なし	項目なし	項目なし
計	1,583.1	490.3	250.1	278.5	7,384.0	7,183.2	3,962.4	4,874.9

3-4-3-2 国際交流

各部局における国際交流活動状況を表 3-17 に示す。

表 3-17 各部局における国際交流活動状況

国際交流 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国際セミナー・シンポ	54.0	36.0	90.0	63.0	63.0	108.0	117.0	117.0
大学／学術組織との交流	42.0	36.0	30.0	6.0	60.0	138.0	138.0	162.0
在外研究	45.0	99.0	36.0	36.0	9.0	36.0	18.0	18.0
姉妹校交流	55.8	37.2	43.4	31.0	18.6	37.2	49.6	136.4
留学生／研究者の受入れ	90.0	48.0	60.0	54.0	78.0	120.0	222.0	48.0
UN, JICA, NGO	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
技術指導	0.0	0.0	9.0	0.0	27.0	9.0	0.0	9.0
国際委員活動	項目なし	0.0	0.0	0.0	項目なし	0.0	18.0	0.0
その他	6.0	項目なし	項目なし	項目なし	19.5	項目なし	項目なし	項目なし
計	298.8	256.2	268.4	190.0	275.1	448.2	562.6	490.4

国際交流 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国際セミナー・シンポ	207.0	45.0	63.0	54.0	468.0	216.0	36.0	81.0
大学／学術組織との交流	192.0	114.0	72.0	60.0	462.0	132.0	54.0	66.0
在外研究	81.0	108.0	90.0	117.0	117.0	72.0	27.0	36.0
姉妹校交流	62.0	37.2	37.2	49.6	248.0	161.2	99.2	55.8
留学生／研究者の受入れ	174.0	96.0	108.0	96.0	618.0	294.0	246.0	246.0
UN, JICA, NGO	0.0	6.0	0.0	0.0	66.0	0.0	0.0	12.0
技術指導	36.0	9.0	0.0	0.0	135.0	9.0	36.0	9.0
国際委員活動	項目なし	18.0	9.0	0.0	項目なし	45.0	45.0	0.0
その他	12.0	項目なし	項目なし	項目なし	28.5	項目なし	項目なし	項目なし
計	764.0	433.2	379.2	376.6	2,142.5	929.2	543.2	505.8

国際交流 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国際セミナー・シンポ	108.0	225.0	135.0	90.0	90.0	99.0	54.0	63.0
大学／学術組織との交流	426.0	306.0	300.0	168.0	54.0	60.0	42.0	42.0
在外研究	72.0	63.0	54.0	63.0	36.0	162.0	72.0	72.0
姉妹校交流	136.4	136.4	204.6	198.4	12.4	6.2	37.2	18.6
留学生／研究者の受入れ	318.0	210.0	342.0	636.0	66.0	42.0	66.0	36.0
UN, JICA, NGO	96.0	0.0	6.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0
技術指導	351.0	36.0	45.0	36.0	63.0	18.0	9.0	9.0
国際委員活動	項目なし	0.0	0.0	0.0	項目なし	18.0	9.0	0.0
その他	30.0	項目なし	項目なし	項目なし	0.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	1,537.4	976.4	1,086.6	1,191.4	333.4	405.2	289.2	240.6

国際交流 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
国際セミナー・シンポ	81.0	18.0	36.0	9.0	1,071.0	747.0	531.0	477.0
大学／学術組織との交流	84.0	30.0	48.0	48.0	1,320.0	816.0	684.0	552.0
在外研究	9.0	0.0	9.0	18.0	369.0	540.0	306.0	360.0
姉妹校交流	31.0	0.0	24.8	18.6	564.2	415.4	496.0	508.4
留学生／研究者の受入れ	114.0	102.0	144.0	90.0	1,458.0	912.0	1,188.0	1,206.0
UN, JICA, NGO	18.0	0.0	0.0	12.0	198.0	6.0	6.0	24.0
技術指導	27.0	0.0	0.0	18.0	639.0	81.0	99.0	81.0
国際委員活動	項目なし	0.0	27.0	0.0	項目なし	81.0	108.0	0.0
その他	9.0	項目なし	項目なし	項目なし	105.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	373.0	150.0	288.8	213.6	5,724.2	3,598.4	3,418.0	3,208.4

3-4-4 項 大学運営活動

平成 16 年度から 19 年度にかけての大学運営活動状況の経年変化を表 3-18 と図 3-10 に示す。各部局における大学運営活動状況を表 3-19 に示す。

表 3-18 平成 16～19 年度における大学運営活動の推移

小項目	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
学部長	420.0	280.0	420.0	140.0
附属施設長	875.0	1,680.0	595.0	385.0
委員長—全学	660.0	1,300.0	960.0	760.0
委員長—学部	2,190.0	2,475.0	2,430.0	1,755.0
委員—全学	4,792.0	4,480.0	3,536.0	2,968.0
委員—学部	4,636.0	5,092.0	3,848.0	3,060.0
その他	*435.0	項目なし	項目なし	項目なし
合計	14,008.0	15,307.0	11,789.0	9,068.0

*グラフから除く。

図3-10 大学運営活動の推移

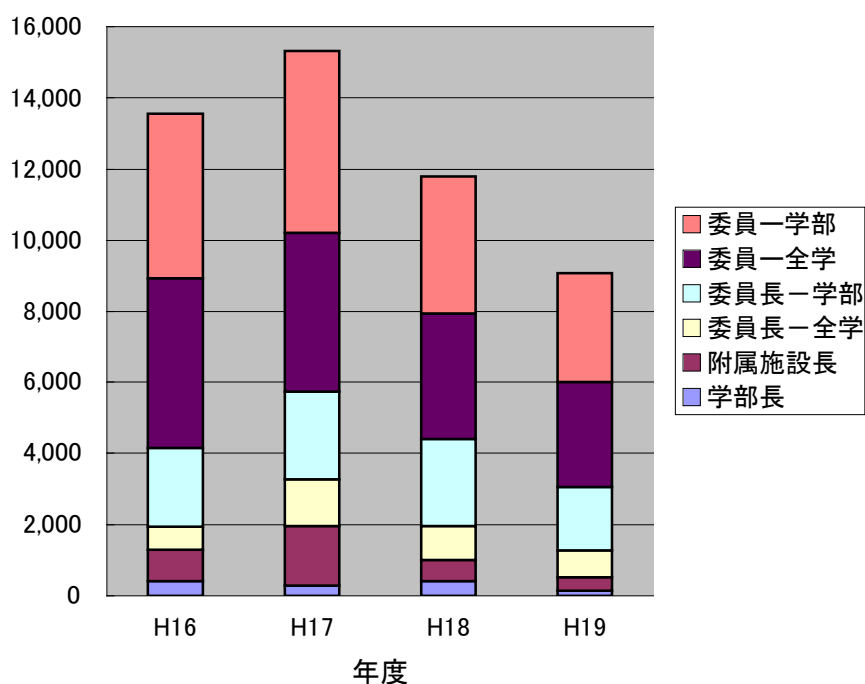


表 3-19 各部局における大学運営活動状況

大学運営 小項目	人文学部				教育学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学部長	70.0	70.0	70.0	0.0	70.0	70.0	70.0	70.0
附属施設長	35.0	315.0	35.0	0.0	245.0	455.0	175.0	70.0
委員長-全学	100.0	180.0	80.0	160.0	20.0	160.0	160.0	60.0
委員長-学部	240.0	285.0	465.0	270.0	540.0	300.0	450.0	435.0
委員-全学	584.0	720.0	528.0	376.0	776.0	576.0	568.0	544.0
委員-学部	428.0	472.0	464.0	436.0	676.0	500.0	472.0	444.0
その他	27.0	項目なし	項目なし	項目なし	42.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	1,484.0	2,042.0	1,642.0	1,242.0	2,369.0	2,061.0	1,895.0	1,623.0

大学運営 小項目	理学部				医学部			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学部長	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	0.0	70.0	0.0
附属施設長	140.0	420.0	70.0	140.0	175.0	315.0	140.0	140.0
委員長-全学	180.0	300.0	260.0	180.0	80.0	220.0	40.0	40.0
委員長-学部	210.0	285.0	195.0	150.0	630.0	1,095.0	780.0	585.0
委員-全学	728.0	824.0	584.0	592.0	1,088.0	856.0	576.0	496.0
委員-学部	416.0	432.0	376.0	308.0	2,224.0	2,772.0	1,804.0	1,400.0
その他	48.0	項目なし	項目なし	項目なし	153.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	1,792.0	2,331.0	1,555.0	1,440.0	4,420.0	5,258.0	3,410.0	2,661.0

大学運営 小項目	農学部				黒潮圏			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学部長	70.0	0.0	70.0	0.0	70.0	70.0	70.0	0.0
附属施設長	140.0	140.0	105.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0
委員長-全学	180.0	240.0	180.0	180.0	0.0	20.0	60.0	40.0
委員長-学部	435.0	315.0	390.0	240.0	105.0	90.0	105.0	60.0
委員-全学	880.0	760.0	696.0	688.0	256.0	296.0	224.0	56.0
委員-学部	596.0	648.0	572.0	380.0	156.0	92.0	80.0	24.0
その他	81.0	項目なし	項目なし	項目なし	6.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	2,382.0	2,103.0	2,013.0	1,523.0	593.0	568.0	539.0	180.0

大学運営 小項目	全共施設				全学			
	平成16	平成17	平成18	平成19	平成16	平成17	平成18	平成19
学部長	0.0	0.0	0.0	0.0	420.0	280.0	420.0	140.0
附属施設長	140.0	35.0	70.0	0.0	875.0	1,680.0	595.0	385.0
委員長-全学	100.0	180.0	180.0	100.0	660.0	1,300.0	960.0	760.0
委員長-学部	30.0	105.0	45.0	15.0	2,190.0	2,475.0	2,430.0	1,755.0
委員-全学	480.0	448.0	360.0	216.0	4,792.0	4,480.0	3,536.0	2,968.0
委員-学部	140.0	176.0	80.0	68.0	4,636.0	5,092.0	3,848.0	3,060.0
その他	78.0	項目なし	項目なし	項目なし	435.0	項目なし	項目なし	項目なし
計	968.0	944.0	735.0	399.0	14,008.0	15,307.0	11,789.0	9,068.0

3-4-5 項 診療活動

平成 16 年度から 19 年度にかけての診療活動状況を表 3-20 に示す。

表 3-20 診療活動状況

小項目	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19
診療日数	項目なし	項目なし	項目なし	3,183.3
診療時間数	5,786.9	4405.6	項目なし	項目なし
診療患者数	2,733.3	1,820.3	1,956.7	1,229.3
当直日数	1,035.8	992.3	818.5	825.3
時間外診療	1,880.5	1,613.3	2,609.3	1,592.5
紹介患者数	153.3	243.8	271.3	305.9
認定医, 専門医数	項目なし	139.5	129.0	155.5
特殊患者診療数	58.6	94.3	60.0	29.5
難治症例	69.2	34.4	33.9	29.4
特殊検査	264.8	290.8	303.9	390.0
手術	項目なし	2,451.0	項目なし	項目なし
手術・麻酔 2,000 点未満	項目なし	項目なし	138.6	177.5
手術・麻酔 2,000 点以上 10,000 点未満	項目なし	項目なし	472.0	466.5
手術・麻酔 10,000 点以上 50,000 点未満	項目なし	項目なし	1,617.0	1,754.0
手術・麻酔 50,000 点以上	項目なし	項目なし	3,670.0	1,455.0
病理組織診断, 細胞診断	項目なし	項目なし	488.1	519.1
迅速病理診断	項目なし	項目なし	37.0	55.6
病理解剖(報告書作成を含む)	項目なし	項目なし	17.4	11.7
CPC(企画・実施)	項目なし	項目なし	4.8	2.0
臨床治験	項目なし	43.3	41.8	55.5
講演回数	44.2	30.0	17.2	15.4
臨床活動普及活動	13.7	項目なし	項目なし	項目なし
臨床成果の執筆活動	35.8	8.0	3.5	9.4
指導症例数	225.0	項目なし	項目なし	項目なし
臨床指導	項目なし	46.2	97.1	87.9
地域病院への協力	37.4	2.4	414.6	387.5
医事紛争対応	25.2	7.0	12.6	11.2
第三者評価への協力	41.8	1.1	192.0	6.1
病棟医長など	項目なし	項目なし	690.0	720.0
合 計	12,405.6	12,223.1	14,096.1	13,474.8

※ 保健管理センター等の診療活動を含む。

3-5 節 「自己評価点」と「素点に基づく点数化」の関係

個々の教員の「自己評価点」は、自己が定めた目的に対する主観的な達成度評価を点数化したものである。目標設定が低い場合には高い自己評価点になり、逆に高い場合には低い自己評価点となる。一方、「素点に基づく点数化」は、客観的な指標に基づく活動量を数値化したもので、目的の達成度とは直接には関係しない。

このように性質の全く異なるものであるが、「自己評価点」と「素点に基づく点数化」の相関を調べたところ、非常に弱いながら正の相関がみられ、相関係数は平成 17 年度 0.194 (n=520)、平成 18 年度 0.194 (n=504)、平成 19 年度 0.266 (n=507) と上昇してきた。

平成 19 年度の回帰直線式は「素点に基づく点数化」 = $0.668 \times$ 「自己評価点」 - 56.4 であった (図 3-11)。**自己評価の厳しさ**を表す指標として、この回帰直線式を参考にしたい。

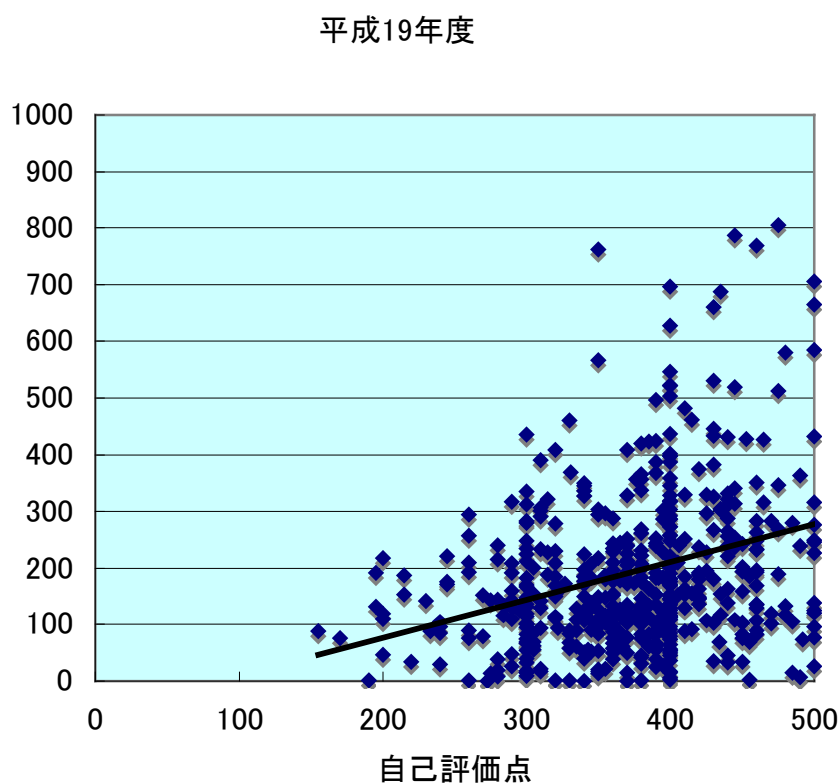


図 3-11 平成 19 年度「自己評価点」と「素点に基づく点数化」の分布

第4章 おわりに

「教員の総合的活動自己評価」は、4年を経て教員の間に着定してきた。しかし、次年度計画の提出率が年々低下している事実が示すように、自己評価の目的を十分に理解していない教員が多数存在している。再度、平成17年度報告書に記載した目的に立ち返り、自己評価とその活用の重要性を再認識していただきたい。

教員の活動には数値化できるものと数値化できないものがある。「素点に基づく点数化」が前者で、「自己評価報告書」が後者にあたる。数値化できるプロダクトを求める過程で、数値化できないものにも波及効果が生じる。逆に、数値化できないものに真摯に取り組むことにより、知らず識らずのうちに豊饒なプロダクトが得られる。本報告の分析において、「素点に基づく点数化」と「自己評価点」の相関係数が上昇してきていることは、これら異質な二つの指標が互いに干渉し始めた、つまり、少なくとも教員の意識において自己評価の効果が表れ始めていることを意味するのかもしれない。

「素点に基づく点数化」から判断すると、高知大学全体の活動量は、平成16年度と比べて、17年度、18年度と活動量が上昇して来たが、19年度は17年度よりも低下した。平成19年度に低下した活動分野は研究である。研究活動の自己評価点は減少していないが、研究活動の活動比率は、人文学部では教育活動に、医学部では診療活動にシフトしている。大学の活動は多様である。本学の教員は、法人化後、さまざまな活動分野でプロダクトを増加させようと努力を重ねてきたが、昨今の資源削減の制約下では、全ての活動分野で成果を出すことは限界に達しているのではないかと危惧される。限られた資源で国立大学法人の使命である『教育研究の質の向上』を目指すには、集約化された教育研究体制の構築が喫緊の課題である。

「教員の総合的活動の自己評価」は、全学の教員一人ひとりの順位付けを意図したものではなく、教員一人ひとりが高知大学の使命を考え、真摯に自分の立ち位置を見つめ直して設定した目的を実現していくための方策である。理想的には、自己評価報告書は教員各自にとって最も意義深いものである。

認証評価や国立大学法人評価の例をあげるまでもなく、評価は、被評価者にとっても評価者にとっても莫大なエネルギーを要す。この労力を無駄にしないためにも、全教員が一丸となって、高知大学の自己評価システムをさらに良いものへと進化させ、本学を活力と個性に溢れる地域の大学へと発展させていかなければならない。それは、教員一人ひとりの責務である。

今後とも教員各位のご理解とご協力をお願いする次第である。